



## 犯罪の被害に遭うということ

犯罪被害者等の  
人権を守るために

阿南警察署 警務係兼被害者支援係

川崎 千聖 さん

### 1 はじめに

「犯罪の被害に遭うということ」は、テレビの中のどこか遠い世界の話ではありません。



犯罪被害者等支援シンボルマーク「ギョウとちゃん」

事件や交通事故は、平穏な生活の中で突然起こり、誰もが思いがけない形で犯罪被害者やその家族(以下、犯罪被害者等)になる可能性があるのです。

もし、自分が、自分の大切な人が、犯罪の被害にあったらどうしますか。「犯罪被害者支援」は、他人事ではなく、誰もが自分の事として考える必要がある問題といえます。

### 2 犯罪被害者等の抱える

さまざまな問題

犯罪被害者等は、被害に遭ったそ

阿南市の花「ひまわり」の花言葉は、「光輝く」です。人権について考え守っていくことが、まさに光り輝く阿南市づくりにつながります。人権教育・啓発コーナー「ひまわり」では、人権に対する思いを掲載していきます。

の日から、命を奪われる(家族を失う)、身体を傷つけられる、物を盗まれるといった直接的な被害だけでなく、「二次的被害」という、被害を受けた後に生ずるさまざまな問題に苦しめられています。

### 二次的被害の例

- ・ 事件に遭ったことによる精神的ショックや身体の不調
- ・ 医療費の負担や失業、転職等による経済的困窮
- ・ 捜査や裁判の過程における精神的、時間的負担
- ・ 周囲の人々の無責任なうわさ話(インターネットへの心ない書き込み)
- ・ 報道機関による過剰な取材 など

### 3 心身への影響

犯罪の被害を受けた後は、一種のショック状態が続く、心や体に変調を来すことが多いのですが、これは異常なことではなく、突然大きなショックを受けた後では、誰にでも起こり得ることです。時に、「人ごみが怖く自宅に引きこもる」「何でもないのに涙が出る」「受けた被害を他人事のように淡々と語る」といったさまざまな反応が現れること

がありま  
す。心身の  
変調の現れ  
方は、人に  
よってさま  
ざまです。  
心の傷の  
回復には、  
周囲の人た  
ちが、この  
ような犯罪  
被害者等の  
状況を理解  
して接する  
ことがと  
ても大切で  
す。

### 被害にあわれた方の心理

| 身体的反応                                  | 心理的反応   | 感覚的反応   |
|--|---|---|
| 緊張・動悸<br>下痢・吐き気<br>不眠・悪夢<br>食欲不振<br>など | 恐怖感・自責感<br>不安感・無気力<br>絶望感・孤独感<br>疎外感・怒り<br>復讐心 など | 感覚・感情のマヒ<br>現実感がない<br>自分でないと感じる<br>記憶力・判断力の低下<br>など |

### 4 犯罪被害者等への接し方

犯罪被害者等へ接する際は、次のような言葉に気をつけなければなりません。

- ・ 責任感や罪悪感を助長する
- ・ 被害の程度を比較する
- ・ 強くなれ等の励まし
- ・ 感情を出すことを禁じる
- ・ 支援者の道徳観・価値観を押しつける

具体例として、「もし、あなたが〇〇していたら」と落ち度を過度に指摘するような言動や、「命が助かっただけでも良かった」と自責感を助長する言動、「もつと大変な人もあるから」と他人と比べるような言動、「早く忘れましょう」といった無責任な励ましなどは、慎まなければなりません。

同じ言葉でも、使われる場面や相手との関係性によって、被害に遭われた方を傷つけてしまうことがあります。

まずは、相手の立場になって、その気持ちを理解しようとするのが、犯罪被害者支援の第一歩になります。

### 5 終わりに(一人で悩まず相談を)

警察や民間被害者支援団体などには、犯罪被害者等の相談窓口があります。犯罪被害による悩みや不安など、一人で抱える必要はありません。もし周囲に犯罪被害により悩んでいる方がいたら、ぜひ相談窓口をお伝えください。それも被害者支援です。私たち一人ひとりが犯罪被害者等に対する理解や配慮をすることが、犯罪被害者等の人権を守ることにつながります。

この機会に、ぜひ被害者支援について考えてみてください。

### ● 性犯罪被害相談電話(ハートさん)

#8103  
受付: 24時間受付、夜間・休日は総合直が対応

### ● 犯罪被害者相談・心のケア

徳島県警察本部犯罪被害者支援室  
088-656-8080  
受付: 月、水、土曜日 午前9時  
午後4時(祝日・年末年始除く)  
(公社) 徳島被害者支援センター

問い合わせ 人権・男女参画課

☎ 22-3094